

令和6年度・春学期

令和6年7月30日実施

一般経済史Ⅱ

期末試験

持ち込み不可

試験時間：13：00～14：00

担当：福澤

1. 前近代共同体社会における経済活動の特徴を挙げた上で、それら共同体の究極の目的を一文で示しなさい。(10点配点相当問題)

2. 絶対主義王政の経済政策と市民革命の意義の一般論に関し、下記の文章の空欄に当てはまる言葉を示しなさい。

西欧絶対主義王政は成長する大衆の経済力を国富の源泉としながらも、封建体制の安定化のためにその力を制御するべく(㉗)を敷き、また(㉘)を保護して重商主義的利益追求の支柱とし、宮廷の財源にもした。市民革命の一般的意義は、それらを排除し、(㉙)を解体し、議会制民主主義の確立により恣意的課税を排除しつつ、(㉚)を保障する市民法的体系を導入することであった。ただし実際にはこれとは異なる各国各様の実態があった。なお、日本の(㉛)は必ずしも市民革命とは言えないが、旧体制の排除に大きく寄与したものだといえる。(10点配点相当問題)

3. 産業革命の意味を三つの視点から説明しなさい。(20点配点相当問題)

4. 運輸革命の三つの領域を挙げ、その意義を簡略に示しなさい。(10点配点問題)

5. とりわけ19世紀以降の世界経済の周辺地域の経済的従属化を説明する「従属理論」の要点を説明しなさい。(20点配点相当問題)

6. 19世紀の資本主義と比較して20世紀の資本主義で顕著となった自由主義的介入とは何か。またそのような体制が創出された背景を簡潔に説明しなさい(20点配点相当問題)

7. 次の㉗、㉘の文章の内容が正しければ○を、間違いを含んだものなら×を記しなさい。

㉗ 自由貿易帝国主義とは、19世紀の自由主義の時代において、欧米諸国が日本、中国、中南米の国々を公式の植民地にすることなく、各地の現地政府の政治的独立性を維持したまま、砲艦外交によって自由貿易を強制することにより、またスペインやポルトガルから独立した中南米諸国においては、自由主義的支配層と結びつきながら、後の帝国主義の時代のように事実上の経済支配のもとにおくことをいう。

㉘ 社会給付の最初のセーフティ・ネットとしてまず選好されるのは、因果原則に則った社会保険である。社会保険は保険数理により市場経済の論理にもっとも適したかたちで相互援助を行う団体的な自助である。他方、結果原則に基づき、現状に即して文化的な最低限の生活水準だけはいかなる事情においても保障するというのが公的扶助であり、これが最後のセーフティ・ネットとなる。

(10点配点相当問題)

以上